

平成 20 年度事務事業評価表(団体運営費補助用)

①事務事業名		担当	部課コード	031200	TEL	2998-9158		
事業コード	園芸協会補助金	市民経済部 農政課						
031219								
補助開始年度		昭和	53	年度	→	終了予定年度	平成	年度
		グループ	振興					

②事業の内容	根拠法令	所沢市農業振興総合対策要綱							
	分野別計画・指針	所沢市地域農業マスタープラン							
	関連・類似事業								
	総合計画の体系	政策	第5章にぎわいと活力に満ちた魅力あるまち	施策	1節 農業	中柱	2 経営基盤の強化	小柱	(3) 農業団体との連携・支援
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ								
補助開始の背景			より良い農産物の生産による供給体制の確立が必要なため、農産物の生産技術を高め、知識の向上や組織づくりによって、農業経営の振興と安定を図る必要があった。						
補助の目的			生産農家が消費者に新鮮で安心・安全な農産物を供給する。						団体への加盟数
団体における実施事業の概要			所沢市・JAいるま野・各関係機関の連携の下、生産者が農業に関する諸活動を通し組織づくりを図る。						単位

③経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	補助金支出額当初予算		270	270	255
	補助額決算 (見込み含む)		270	270	
	臨時職員賃金		人	人	
	正規職員人件費		0.20 人	1,840	0
	事業費合計		2,110	270	
	市民一人当たり(単位:円)		6.2	0.8	

④指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	団体活動実績	農産物の品評会・共進会	延べ出品数	品	162	170	180	200
		視察研修会、技術検討会	参加人数	人	53	52	70	80
	成果分析	視察研修会、技術検討会	参加人数	目標値	70	70	70	
				実績	53	52		
% 達成率				75.7	74.3			
				実績値の拡大を図る1		実績値の縮小を図る2		

⑤一次評価	補助金の有効性	評価項目	総合計画への貢献度	<input type="checkbox"/> 貢献度は高い	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度貢献している	<input type="checkbox"/> 貢献度は低い	
		成果分析に基づく目的の達成度	<input type="checkbox"/> 達成度は高い	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度達成している	<input type="checkbox"/> 達成度は低い		
		団体活動の自主性	<input type="checkbox"/> 自主性は高い	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度自主的である	<input type="checkbox"/> 自主性は低い		
		事業費に占める補助金の割合	<input type="checkbox"/> 81%以上	<input type="checkbox"/> 61%~80%	<input checked="" type="checkbox"/> 41%~60%	<input type="checkbox"/> 21%~40%	<input type="checkbox"/> 20%以下
		活動内容及び会計処理の適切さ	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 改善余地がある	<input type="checkbox"/> 改善の余地が大きい		
		今後の必要性	<input type="checkbox"/> 増大する	<input type="checkbox"/> 減少する	<input checked="" type="checkbox"/> 変わらない		
	目標設定	H20	目標項目	達成水準	時期		
H21予算の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状通り	<input type="checkbox"/> 増額	<input type="checkbox"/> 減額	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 終了		
上記評価理由(補助金の有効性及び予算の方向性)	都市近郊型農業において、市が進める地産地消事業と連携し、生産者がより良い農産物を市民に提供することが必要とされている。研修会や品評会及び共進会等の事業を開催し、市民に高品質なおかつ新鮮な農産物を提供し、農業の重要性を市民に啓発していく。						
評価日	平成20年5月15日	記入者職氏名	農政課長 越阪部孝夫				

⑥二次評価	次年度用評価	部内優先順位...	位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標							<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
	評価理由	市長マニフェスト							<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
評価日									

⑦個別計画の方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ...	無し	計画コード	
	施策の体系	施策の方向			
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ...	無し	計画コード	
	基本目標				
	主要課題				
施策の方向					